

副官



参事官

十月廿九日

Handwritten signature

年月 日 起案

大臣

總務長官

来月十月二十日付に於て
考出御禮に付其式に於て

頁一頁

0106

天皇陛下

行幸 丁丑三月八日

三月廿三日 松原野 松原野 松原野 松原野

三月廿四日 松原野 松原野 松原野 松原野

三月廿五日 松原野 松原野 松原野 松原野

教可也

(松原野 松原野 松原野 松原野)

宣德二年 名以内ノ之様

就中 松原野 松原野

吾國 松原野 松原野 松原野 松原野

三月廿九日 松原野 松原野 松原野 松原野

三月三十日 松原野 松原野 松原野 松原野

三月三十一日 松原野 松原野 松原野 松原野

癸卯年正月廿八日新橋員ノ普通
列車ニ一考車ヲ連結シ号新
橋ニ於テ橋段變ハシ運賃切符ヲ廢棄
是レヲ稱スルニ新橋員ノ普通
列車トシ

三月廿一日

新橋員

海運員

新橋員

海運員
新橋員
新橋員

0108

第八七三號

奉^レ十月二日官廳^ニ送^ル式^ニ符^当手^港ハ
 階^下リ^テ奉^ル事^ヲ仰^クハ^レ由^内之^ノ交^当日^ハ
 本^府乃^長及^{ヨリ}東京^海軍^將校^等他^各
 省^官警^及ハ^費シ^タル^招待^状ノ^シモ^毛約
 六^万通^ニシ^テ比^外ハ^概ノ^メ奉^港ス^ハキ
 モ^ノ不^少ト^認存^候也
 此^奉着^期御
 所^定ノ^上由^送奉^候際^候際^候頂^上契^奉外^化
 立^御召^汽車^奉車^時刻^ト通^揚列^車横
 須^契奉^車時^刻ト^通揚^レ候^レ時^ハ普^通
 列^車ニ^テ帰^途ニ^結ス^ルハ^奉考^向言^事及^奉

原田印刷會社發行

一切符購入方、乃店と五し召發高以ラ是
 等、混雜ラ通「ん」の昨年早能新官道
 多式の型、何れ做に當日新橋表車、
 臨横須賀汽船切符ヲ費高と又當日新
 橋及横須賀ヲ 外務立御員汽車表車
 後新橋ヲ横須賀ト横須賀ヲ新橋リ
 一普通運列車ニ通運。一お車ヲ持せらる
 、横濱道作乘高、降ラ法照原にお出
 務の好都合ト存於乗法乗考迄月
 急法西口往扶也

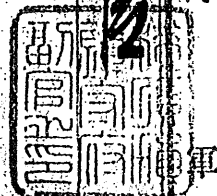
明治三十五年
 十月二十七日

0111

神尾横須賀鎮守府副官

海

陸軍大臣秘書官殿



0112

副官



参事官

十月廿九日

三十九年十月廿九日起案

大臣

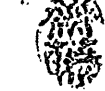
總務長官



軍務局長



第一課長



第二課長



海總字三六四三

案
十月二十日午後二時持出
了
於
了

案

0113

訓傳 水戸藩の領地 支那の領地

意のこ

三十八年十月廿五日

存案 大蔵省

如前 大蔵省

大蔵省 領地

水戸藩の領地 支那の領地

副官

井出 参事官

三十二年十月三十一日 起案

發行 十冊

大臣

總務長官

土夢局長

第一課長 第二課長

課員

徳田

徳田

別紙 三冊

宮内大臣より通達あり一紙案

訓令案

海總第三六六五

海軍

0116

0115

手書 切付 通達 案

御印

井出

参事官

三十二年十一月三十一日 起案

發自

十廿

印

事務局長

第一課長

第二課長

課員

徳田

印

訓令案

宮内大臣品川喜作一紙案

海軍

0116

0115

切仰 品川喜作 海軍大臣 一紙案 上奏 文 一

心得

三十五年十月廿一日

持政の巻

五

近江守茶屋割外海録第五十一回二訓令
書二添附所記中書一冊上心得

0117

宮内省
丙第四八六號

來十月二日横須賀軍港ニ於テ軍艦進水
式舉行ニ付同日午前九時三十分御出門
同港ニ行幸被為在候旨被 仰出候事別
紙御差着割相添此取及御通達候也
明治三十六年十月三十一日

宮内大臣子爵田中光顯

海軍大臣男爵山本權兵衛殿

海軍第三六五号?

十一月二日

御發着割

午前九時三十分

御出門

同 十時

新橋御發着車 別仕立馬車

同 十一時三十七分

横須賀御着車

横須賀停車場ヨリ直ニ御馬車乗御鎮守府
御着 御晝餐

午後二時

進水式場へ臨御

同 三時十五分

鎮守府御發着 御馬車

同 三時三十分

横須賀御發着車 別仕立馬車

同 五時七分

新橋御着車

還幸

軍務

副官



参事官

三世

二十六年十月三日 起案

大臣

總務長官



軍務局長



第一課長

第二課長



第三課長



海軍第三六五號

天皇陛下未上自二十年前の新橋海軍

女木

海軍

0121

りき

参事官

三世

月三十一日起案

局長

第一課長

第二課長

徳田

印

下等前所新橋海軍

海軍

0121

リ奉仰出サのろハ奉付申

本件配布ノ時日ハ恐レコリ通報スヘシ

事務局

0122

副官



参事官



三世

二十九年十月三十一日也案

大臣

總務長官



軍務局長



第一課長



第二課長



海軍
三六六五號

天皇陛下横濱御下見

案

海軍

0124

リ

参事官

一月三十一日迄案

後月
三廿二

局長

第一課長
第二課長

課員

徳田

徳田

皇陛下横濱から

海軍

0124

リキョウ...

本件發布ノ時日ハ...

軍務局

0125

不有

御務局

横領第八七二番ノ一〇

御次第書細目ノ義存御届

来々十月二日

天皇陛下書御軍港 行幸去次第書依リ

細目別紙之通相定候条此段及御届候也

明和辛未年十月二十九日

横須賀鎮守府司令長官男爵井上良馨

海軍大臣男爵山本權兵衛殿

御届

十月二日

明和

海軍

0127

横鎮第八七二號ノ九

明治三十六年十一月二日

天皇陛下横須賀軍港

行幸御次第書并御次第書細目

九ノ通心得ニシ

明治三十六年十月二十八日

横須賀鎮守府司令長官男爵井上良馨

明治三十六年十一月二日横須賀軍港ニ於テ三等

巡洋艦一隻(進水トキハ音羽ト命名スヘク御倣定ム)

進水式舉行ニ付

天皇陛下行幸御次第書

一御發着割九ノ如シ

十一月二日

午前九時三十分

御出門

同 十時

新橋御發車 別仕立汽車

同 十二時三十分

横須賀御着車

横須賀停車場ヨリ直ニ御馬車乘御鎮守府御着

御晝餐

午後二時

進水式場臨御

同 三時十五分

鎮守府御發車 御馬車

同 三時三十分

横須賀御發車 別仕立汽車

同 五時七分

新橋御着車

還御

三當日横須賀港在泊ノ諸艦滿艦飾ヲ行フ

三横須賀御着發ノ場合ニ於ケル禮砲奉迎奉送ノ儀仗兵其他

敬禮及服裝ノ制規ニ依ル

- 四 鎮守府御着後直ニ所在陸海軍將官同相當官ニ拜謁ヲ賜フ
又特ニ鎮守府幕僚艦政部高等官及造船廠高等官港務
部高等官ニ拜謁ヲ賜フ
- 五 前項ノ外所在高等官ハ鎮守府庭内ニ整列シ前項諸官ノ拜
謁ニ次キ拜謁ヲ賜フ
- 六 午後一時五十分海軍大臣鎮守府司令長官御先導ニテ鎮守府
御發進水式場ニ臨御アラセラル
- 七 前記各項ノ外細目ハ横須賀鎮守府司令長官便宜之ヲ定メ處
理ス

天皇陛下 行幸御次第書細目

一、午前八時在港ノ諸艦満艦飾ヲナスヘシ

二、服装、禮服トス

三、午前十時三十七分横須賀停車場 御著車ノ事

玉車海兵團ヲ通過スルトキ同團員、海軍敬禮式ニ基キ團門前ノ
練兵場ニ整列敬禮スヘシ

横須賀停車場 御著車ノ時第一區外ノ軍艦、玉車七梯隧道

ヲ出テ吉倉ニ出現スルヲ機トシ槁ニ做ヒ皇禮砲ヲ行ヒ第一區内、船松海
ニ奉ル敬禮ヲ行フヘシ鎮守府司令長官（大塚）兼備軍港所在艦團其他本部ノ長

ハ停車場内 玉車ニ奉迎ノ事

軍港所在艦船乗組高等官ハ停車場近傍指定ノ場所整
列奉迎スヘシ

儀仗隊ハ停車場前ニ整列シ敬禮スヘシ

軍樂隊ハ儀仗兵ノ傍ニ在テ奏樂スヘシ

四、停車場ヨリ鎮守府御順路尤ノ如シ

横須賀町港及汐入通左へ幸搦ヲ渡御汐苗及元町通右へ鎮守府著御

軍港所在ノ海軍准士官下士卒判任文官機關學校生徒商船學校學生ハ御道筋ノ一側指定ノ場所ニ整列奉迎スヘシ

鎮守府著御時鎮守府司令長官同幕僚各廳長奉迎長官玉座へ御先導ノ事

艦船乗組ニアラサル軍港所在海軍高等官鎮守府内指定ノ場所ニ整列奉迎スヘシ

五、鎮守府著御ト同時ニ其旗竿ニ天皇旗ヲ掲揚ス但シ海軍少佐荒尾富三郎之ヲ掌ルヘシ旗竿ヨリ撤スルトキ亦同シ

六、鎮守府着御直ニ軍港所在ノ海軍高等官奉伺拜謁ノ事
七、拜謁後御少憩御昼餐ノ事

軍樂隊ハ午前十一時迄ニ鎮守府ニ參著シ御晝餐際奏樂スヘシ

八、鎮守府司令長官ヨリ軍艦音羽建造ノ明細書ヲ御覽ニ供スル事
九、午後一時五十分海軍大臣、鎮守府司令長官御先導ニテ進水式
場臨御ノ事

儀仗兵ハ御道筋ニ整列敬礼スヘシ

軍樂隊ハ儀仗隊ノ傍ニ在テ奏樂スヘシ

進水式場 著御ノ後海軍大臣進水命令書ヲ朗讀シ終テ之

ヲ鎮守府司令長官ニ授リ司令長官ハ艦政部長ヲ經テ造船廠長ニ

令シ進水ヲ施行セシム

艦体ノ水面ニ向テ滑動進行ヲ始ムル時之ヲ合図ニ軍樂隊樂ヲ奏

シ奏樂終ル時ヲ以テ進水式ヲ終ル

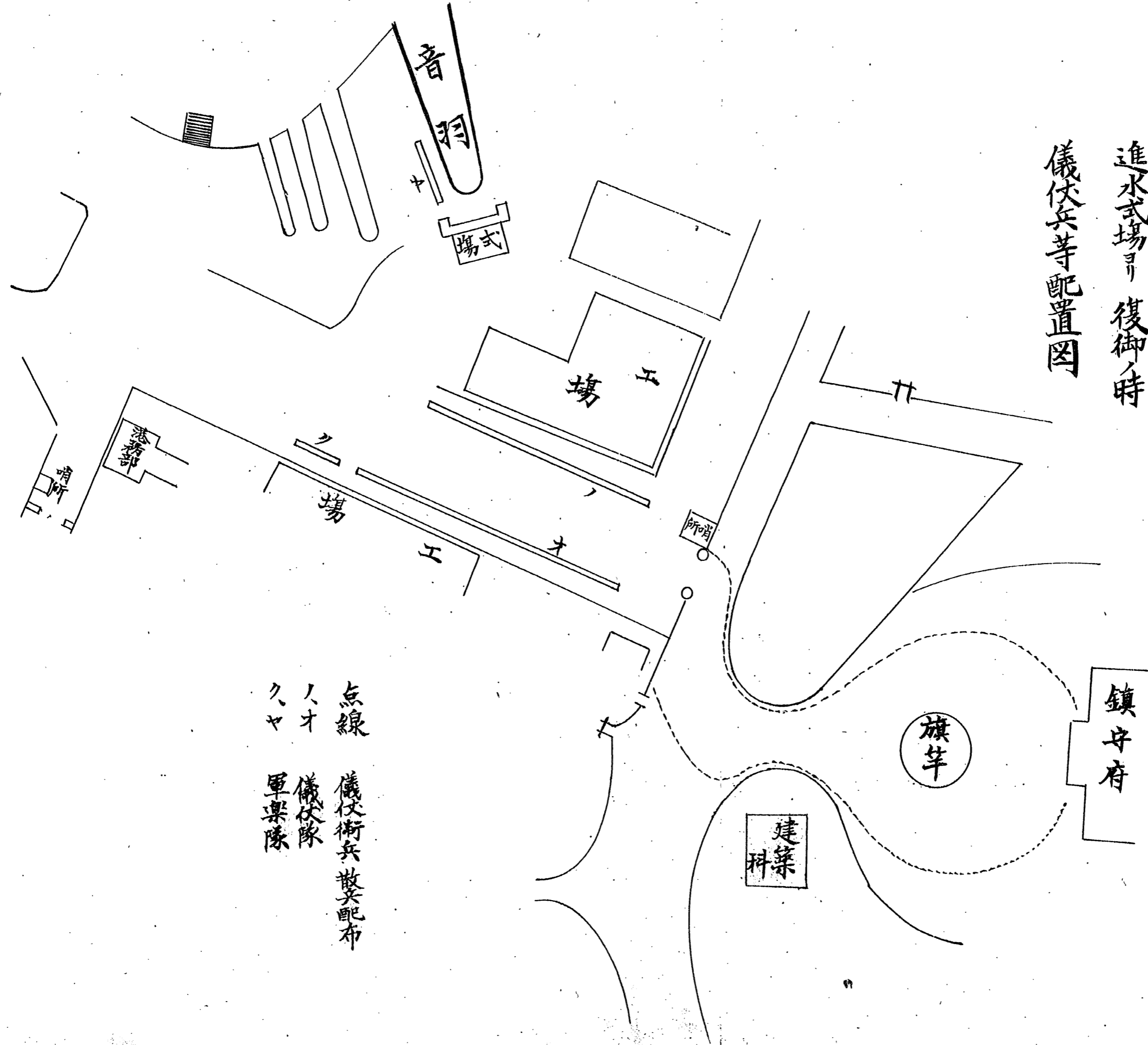
港務部先任部員ハ豫メ錨地ヲ定メ置キ音羽ニ在テ投錨ノ令

ヲ下シ艦ノ保護繫維ヲ擔任スヘシ

十一、右終テ鎮守府 復御 御先導等第九項ニ同シ

第四圖

鎮守府より進水式場へ臨御時及
進水式場より復御時
儀仗兵等配置図



点線 儀仗衛兵散兵配布
 久才 儀仗隊
 ヤ 軍樂隊

十三、午後三時十分、鎮守府御發御馬車横須賀停車場へ被為

成

御順路第四項ニ準ス

鎮守府 發御ノ時、鎮守府司令長官同幕僚各廳長 奉送ノ事

艦艇乗組ニアラサル軍港所在海軍高等官、鎮守府門内指定ノ場所ニ整列奉送スヘシ

軍港所在、海軍准士官下士卒判任文官機関学校生徒商船學校学生、御道筋ノ一側指定ノ場所ニ整列 奉送スヘシ

十三、鎮守府 發御ト同時ニ其旗竿、天皇旗ヲ撤ス

十四、鎮守府司令長官同幕僚軍港所在、艦團其他各部ノ長、

玉車迄奉送ノ事

儀仗隊、停車場前ニ整列シ停車場 著御ノ時及 玉車進行

ヲ始ムルトキ共ニ敬禮ヲ行フヘシ

軍樂隊ハ儀仗隊ノ傍ニ在リテ奏樂スヘシ

第一區外ノ各艦ハ 玉車進行ヲ始ムルト同時ニ橋立ニ做ヒ皇禮砲
ヲ行ヒ第一區内ノ艦船ハ海軍敬礼式第六十二條ノ敬禮ヲ行フヘシ
各艦ハ 玉車ノ全ク見ヘサルニ及ヒ橋立ニ做ヒ滿艦飾ヲ撤スヘシ

十五、儀仗兵ハ別紙編制ニ依ル

十六、下士卒奉迎送者ハ軍艦ニ在テハ半数其他ハ勤務ニ差支ナキ限り總
員ヲ出スヘシ

十七、艦團校所生徒下士卒 奉迎送者ハ士官ヲシテ其他ノ下士卒ハ准
士官若ハ先任下士ヲシテ引率セシムヘシ

十八、儀仗衛兵ハ鎮守府及進水式場ニ守衛スヘシ

十九、下士卒 奉迎送者ハ別圖指定ノ位置ニ就キ海軍中佐林三子雄
之ヲ指導スヘシ

▽ 平、奉迎送者ハ尤託時刻ニ別図指定ノ場所ニ參集スヘシ

横須賀停車場御着鎮守府臨御時 午前十時四十五分迄

鎮守府御發停車場被為成横須賀御發車時 午後三時三十分迄

▽ 三、奉送ノ時ハ各其位置ニ於テ奉迎ノ時ニ對シ先頭ノ順序ヲ轉
換ス進水式場ヨリ鎮守府復御ノ時ハ式場臨御ノ時ニ對シ
亦同シ

天皇陛下行幸儀仗兵編制表

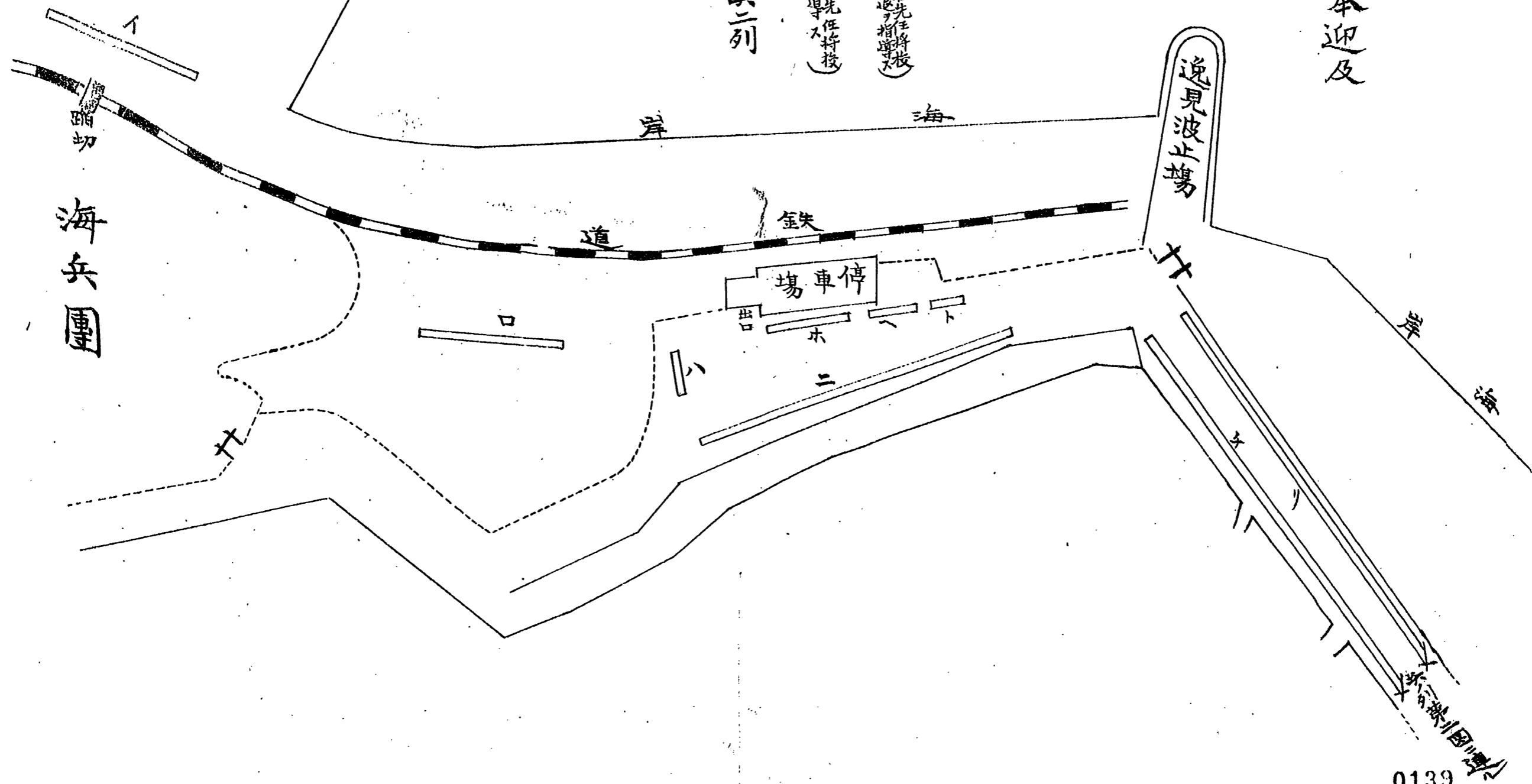
職員 其他	艦固所名	儀仗隊		儀仗衛兵	
		海兵團	砲術練習所	海兵團	砲術練習所
大隊長	大佐	一			
大隊副官		一			
大隊下副官		一			
中隊長	村越中尉	三	一	一	一
中隊下士		四		一	
給與下士		四		一	
小隊長			八		三
小隊之數		一			三
一分隊之伍數		四			三
信掃兵曹信掃兵		一		四	
軍醫官		一			
看護手看護		四			
軍樂隊		一			

第一圖

横須賀停車場 著御時 奉迎及
還行時 奉送位置

- イ 海兵團下士卒在團員
- ロ 海兵團下士卒半數
- ハ 軍樂隊
- ニ 海軍儀仗隊
- ホ 艦船乗組海軍高等官(現在先任將校 進退先任將校)
- ヘ 陸軍隊外士官
- ト 艦船乗組海軍准士官(先任將校 指掌)
- チ 海軍總銃下士卒二列
- リ 陸軍儀仗隊陸軍迎送兵二列

海兵團練兵場

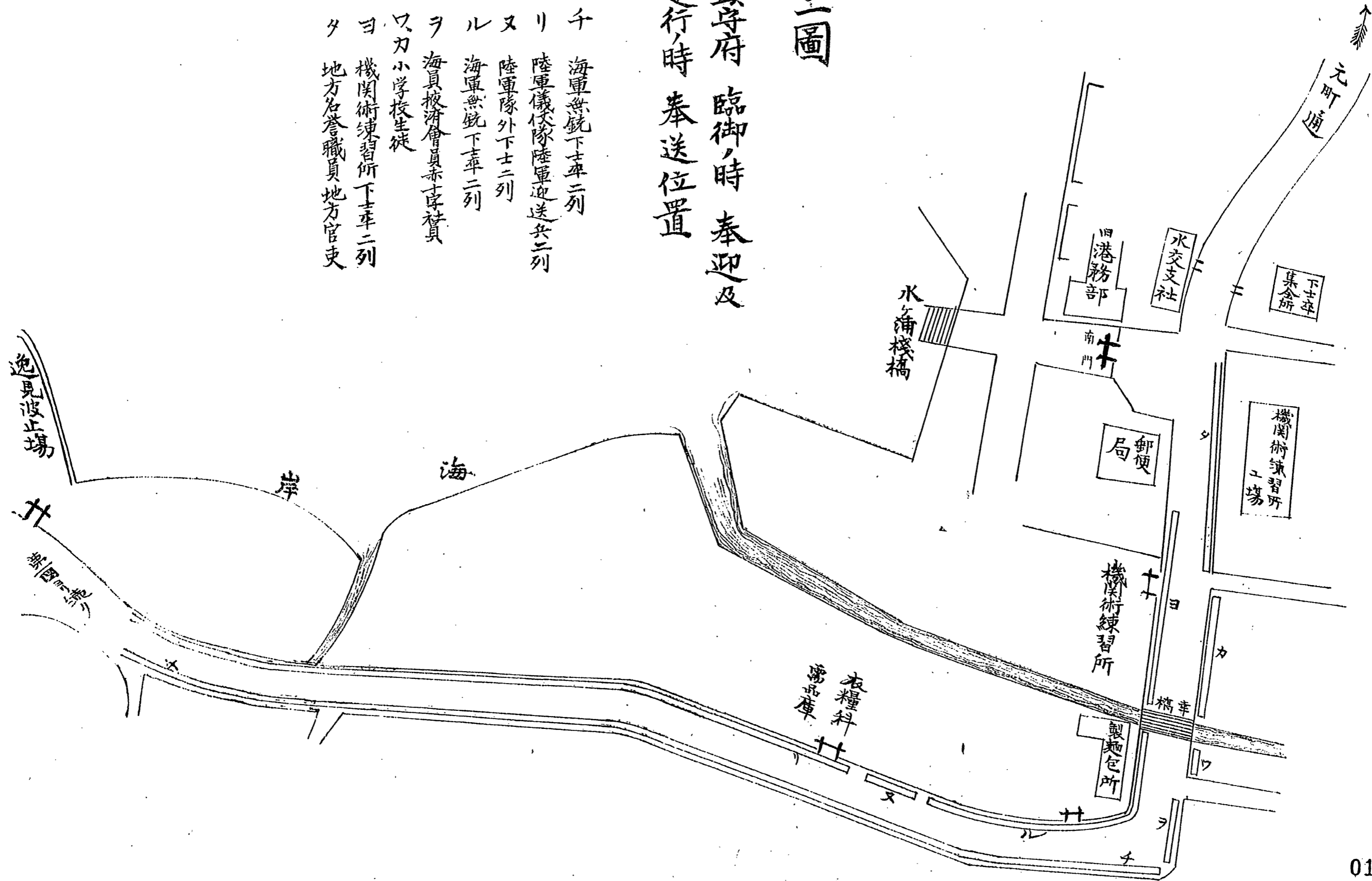


0139

第二圖

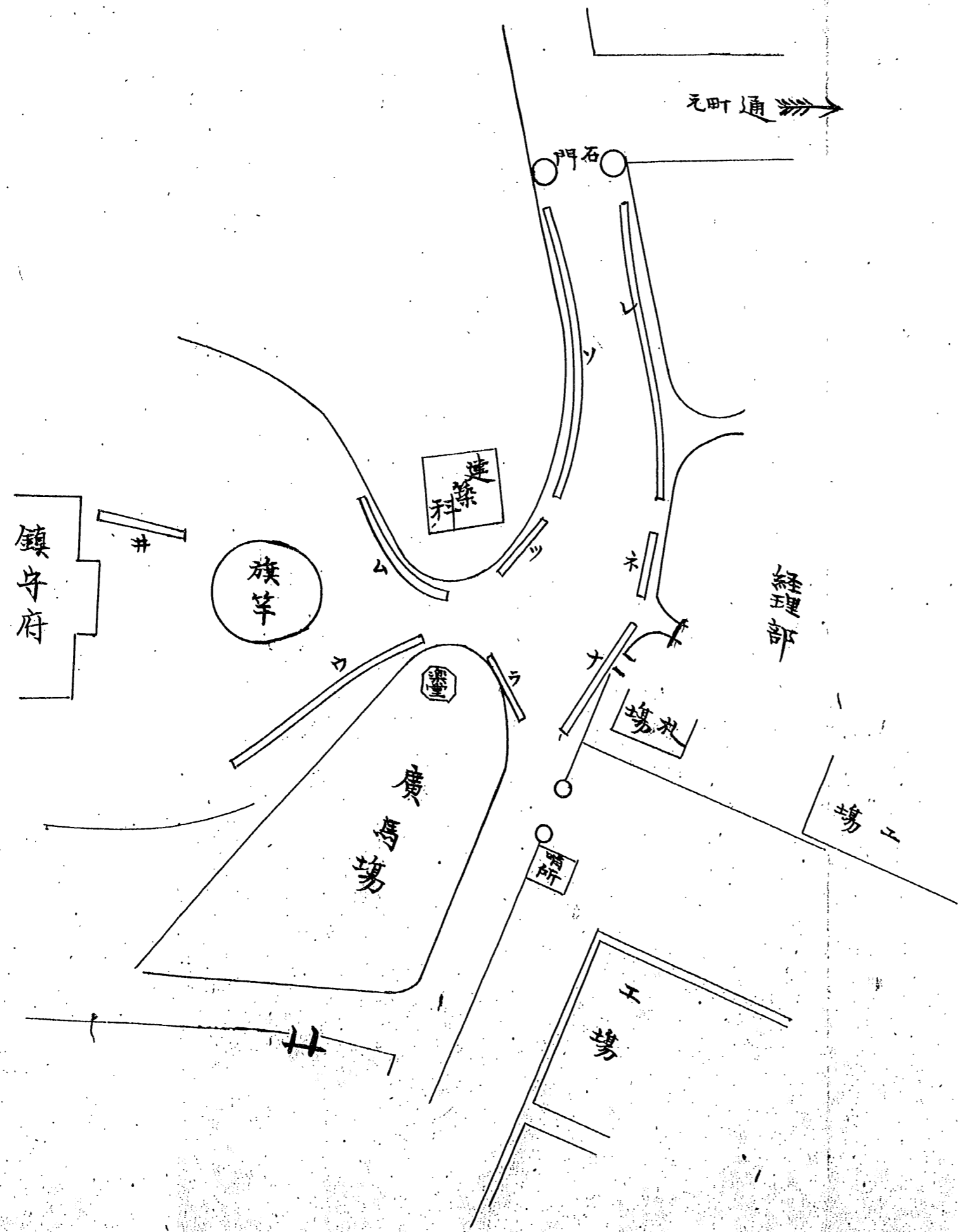
鎮守府 臨御時 奉迎及 還行時 奉送位置

- 千 海軍無銃下士二列
- リ 陸軍儀仗隊陸軍迎送兵二列
- 又 陸軍隊外下士二列
- ル 海軍無銃下士二列
- ヲ 海員校済會員赤十字會員
- ヰ 小学校生徒
- ヨ 機關術練習所下士二列
- 夕 地方名譽職員地方官吏



第三圖

鎮守府 著御時奉迎
 鎮守府 發御傳車場 被為成時
 奉送位置



井 ウ ム ラ ナ ネ ツ レ

機關學校生徒
 大學々生
 商船學校學生
 海軍判任文官
 海軍准士官
 儀仗衛兵
 鎮守府司令長官、幕僚各廳長

機關學校 士官之ヲ 指揮ス
 海軍判任文官 少ノ先任將校 指導ス
 海軍准士官 現在先任將校 退任ヲ指導ス

皇太后御覽

軍務局

横鎮第八七二號ノ九

明治三十六年十一月二日

天皇陛下横須賀軍港

尤ノ通心得ヘシ

行幸御次第書并御次第書細目

明治三十六年十月二十八日

横須賀鎮守府司令長官男爵井上良馨

明治三十六年十一月二日横須賀軍港ニ於テ三等

巡洋艦一隻(進水トキハ音羽ト命名スヘク御倣定メ)

進水式舉行ニ付

天皇陛下行幸御次第書

一御發着割尤ノ如シ

十一月二日

午前九時三十分

御出門

同 十時

新橋御發車 別仕立汽車

同 十一時三十分

横須賀御着車

横須賀停車場ヨリ直ニ御馬車乘御鎮守府御着

御晝餐

午後二時

進水式場臨御

同 三時十五分

鎮守府御發車 御馬車

同 三時三十分

横須賀御發車 別仕立汽車

同 五時七分

新橋御着車

還御

二當日横須賀港在泊ノ諸艦滿艦飾ヲ行フ

三横須賀御着發ノ場合ニ於テ禮砲奉迎奉送ノ儀仗兵其他

敬禮及服裝ニ制規ニ依ル

- 四 鎮守府御着後直ニ所在陸海軍將官同相當官ニ拜謁ヲ賜フ
 又特ニ鎮守府幕僚艦政部高等官及造船廠高等官港務
 部高等官ニ拜謁ヲ賜フ
- 五 前項外所在高等官ハ鎮守府庭内ニ整列シ前項諸官ノ拜
 謁ニ次キ拜謁ヲ賜フ
- 六 午後一時五分海軍大臣鎮守府司令長官御先導ニ鎮守府
 御發進水式場ニ臨御アラセラル
- 七 前記各項外細目ハ横須賀鎮守府司令長官便宜之ヲ定處
 理ス

天皇陛下 行幸御次第書細目

一 午前八時在港ノ諸艦ニ滿艦飾ヲナスヘシ

二、服装、禮服トス

三、午前十時三十分横須賀停車場 御著車ノ事

玉車海兵團ヲ通過スルトキ同團員、海軍敬禮式ニ基キ團門前ノ

練兵場ニ整列敬禮スヘシ

横須賀停車場 御著車ノ時第一區外ノ軍艦、玉車七拜隧道

ヲ出テ吉倉ニ出現スルヲ機トシ搦立ニ做ヒ皇禮砲ヲ行ヒ第一區内、艦船ハ海

ニテ敬禮鎮守府司令長官、以テ軍港所在ノ艦團其他各部長

ハ停車場内 玉車ニ奉迎ノ事

軍港所在艦船乗組高等官ハ停車場近傍指定ノ場所整

列奉迎スヘシ

儀仗隊ハ停車場前ニ整列シ敬禮スヘシ

軍樂隊、儀仗兵ノ傍ニ在テ奏樂スヘシ

四、停車場ヨリ鎮守府御順路迄ノ如シ

横須賀町港及汐入通左へ幸搦ヲ渡御汐留及元町通右へ鎮守府著御

軍港所在、海軍准士官下士卒、判任文官、機關學校生徒、商船學校學生、御道筋ノ一側指定ノ場所ニ整列奉迎スヘシ

鎮守府著御時、鎮守府司令長官同幕僚各廳長、奉迎長官玉座へ御先導ノ事

艦船來組ニアラサル軍港所在海軍高等官、鎮守府内指定ノ場所ニ整列奉迎スヘシ

五、鎮守府著御同時ニ其旗竿ニ天皇旗ヲ掲揚ス但シ海軍少佐荒尾富三郎之ヲ掌ルヘシ旗竿ヨリ撤スルトキ亦同シ

六、鎮守府着御直ニ軍港所在ノ海軍高等官奉伺拜謁ノ事
七、拜謁後御少憩御昼餐ノ事

軍樂隊ハ午前十一時迄ニ鎮守府ニ參著シ御晝餐際奏樂スヘシ

八、鎮守府長官ヨリ軍艦音羽建造ノ明細書ヲ御覽ニ供スル事
九、午前一時五十分海軍大臣、鎮守府司令長官御先導ニテ進水式
場臨御ノ事

儀仗兵、御道筋ニ整列敬礼スヘシ

軍樂隊ハ儀仗隊ノ傍ニ在テ奏樂スヘシ

十、進水式場 著御ノ後海軍大臣進水命令書ヲ朗讀シ終テ之

ヲ鎮守府司令長官ニ授リ司令長官ハ艦政部長ヲ經テ造船廠長ニ

令シ進水ヲ施行セシム

船体水面ニ向テ滑動進行ヲ始ル時之ヲ合図ニ軍樂隊樂ヲ奏

シ奏樂終ル時ヲ以テ進水式ヲ終ル

港務部先任部長、豫メ錨地ヲ定メ置キ音羽ニ在テ投錨ノ令

ヲ下シ艦ノ保護繫維ヲ擔任スヘシ

十一、右終テ鎮守府 復御 御先導等第九項ニ同シ

十三、午後三時、鎮守府御發御馬車、横須賀停車場へ被為

成

御順路第四項ニ準ス

鎮守府發御時、鎮守府司令長官同幕僚各廳長奉送ノ事

艦艇乗組ニアラル軍港所在海軍高等官、鎮守府門内指定場所ニ整列奉送スヘシ

軍港所在海軍准士官下士平判任文官機關學校生徒商船學校學生、御道筋ノ一側指定ノ場所ニ整列奉送スヘシ

十三、鎮守府發御時、其旗竿ノ天皇旗ヲ撤ス

十四、鎮守府司令長官、艦團其他各部ノ長、

玉車迄奉送ノ事

儀仗隊停車場前ニ整列シ停車場著御時及玉車進行

ヲ始ムルトキ共ニ敬禮ヲ行フヘシ

軍樂隊、儀仗隊、傍ニ在リテ奏樂スヘシ

第一區外ノ各艦、玉車進行ヲ始ムルト同時ニ橋立ニ做ヒ皇禮砲

ヲ行ヒ第一區内ノ艦艇ハ海軍敬礼式第六十二條ノ敬禮ヲ行フヘシ

各艦、玉車ノ全ク見ヘサルニ及ヒ橋立ニ做ヒ滿艦飾ヲ撤スヘシ

十五、儀仗兵ハ別紙編制ニ依ル

十六、下士卒奉迎送者ハ軍艦ニ在テハ半数其他ハ勤務ニ差支ナキ限り總

員ヲ出スヘシ

十七、艦團校所生徒下士卒奉迎送者ハ士官ヲシテ其他ノ下士卒ハ准

士官若ハ先任下士卒ヲシテ引率セシムヘシ

十八、儀仗衛兵ハ鎮守府及進水式場ニ守衛スヘシ

十九、下士卒奉迎送者ハ別圖指定ノ位置ニ就キ海軍中佐林三子雄

之ヲ指導スヘシ

二、奉迎送者ハ尤記、時刻ニ別図指定ノ場所ニ參集スヘシ

横須賀停車場御着鎮守府臨御時

午前十時四十五迄

鎮守府御發停車場被為成横須賀御發車時 午後三時三十分迄

三、奉送ノ時、各其位置ニ於テ奉迎ノ時ニ對シ先頭ノ順序ヲ轉

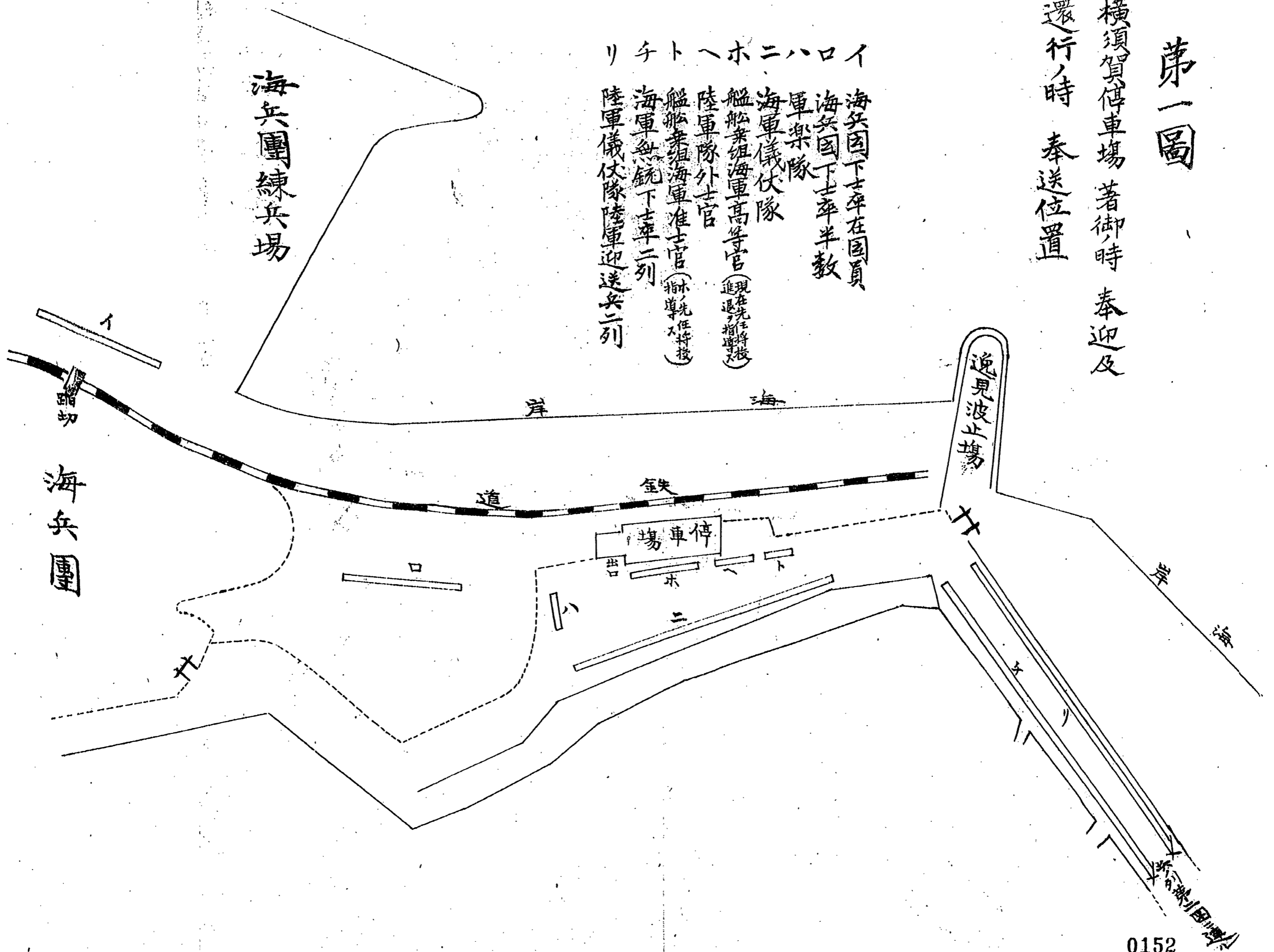
換ス進水式場ヨリ鎮守府復御ノ時ハ式場臨御ノ時ニ對シ

亦同シ

第一圖

横須賀停車場 著御時 奉迎及
還行時 奉送位置

- イ 海兵團下士卒在園員
- ロ 海兵團下士率半教
- ハ 軍樂隊
- ニ 海軍儀仗隊
- ホ 艦船乗組海軍高等官(現在先任將校 進退指揮)
- ヘ 陸軍隊外士官
- ト 艦船乗組海軍准士官(指掌)
- チ 海軍無銃下士率二列
- リ 陸軍儀仗隊陸軍迎送兵二列

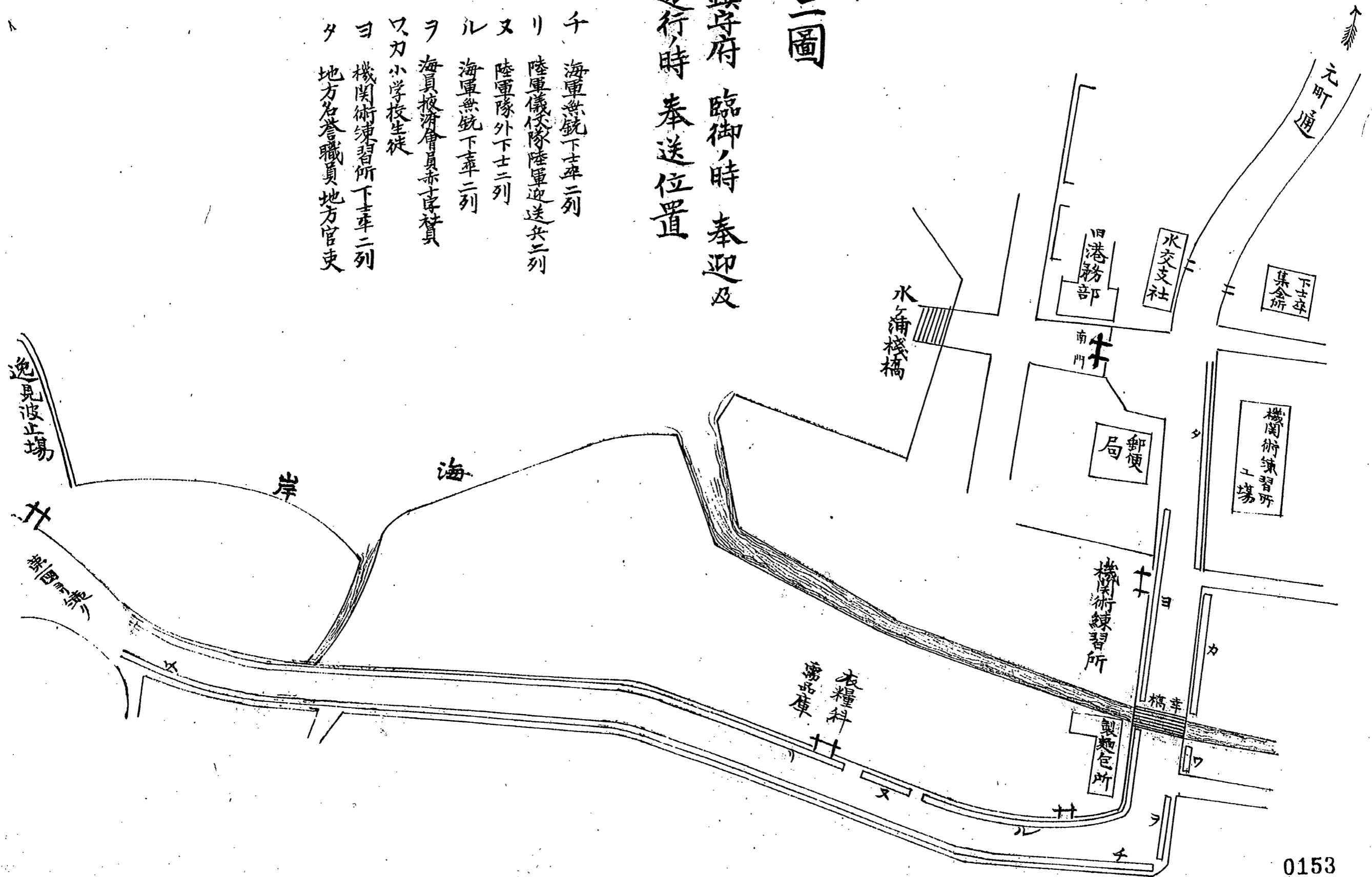


0152

第二圖

鎮守府 臨御時 奉迎及 還行時 奉送位置

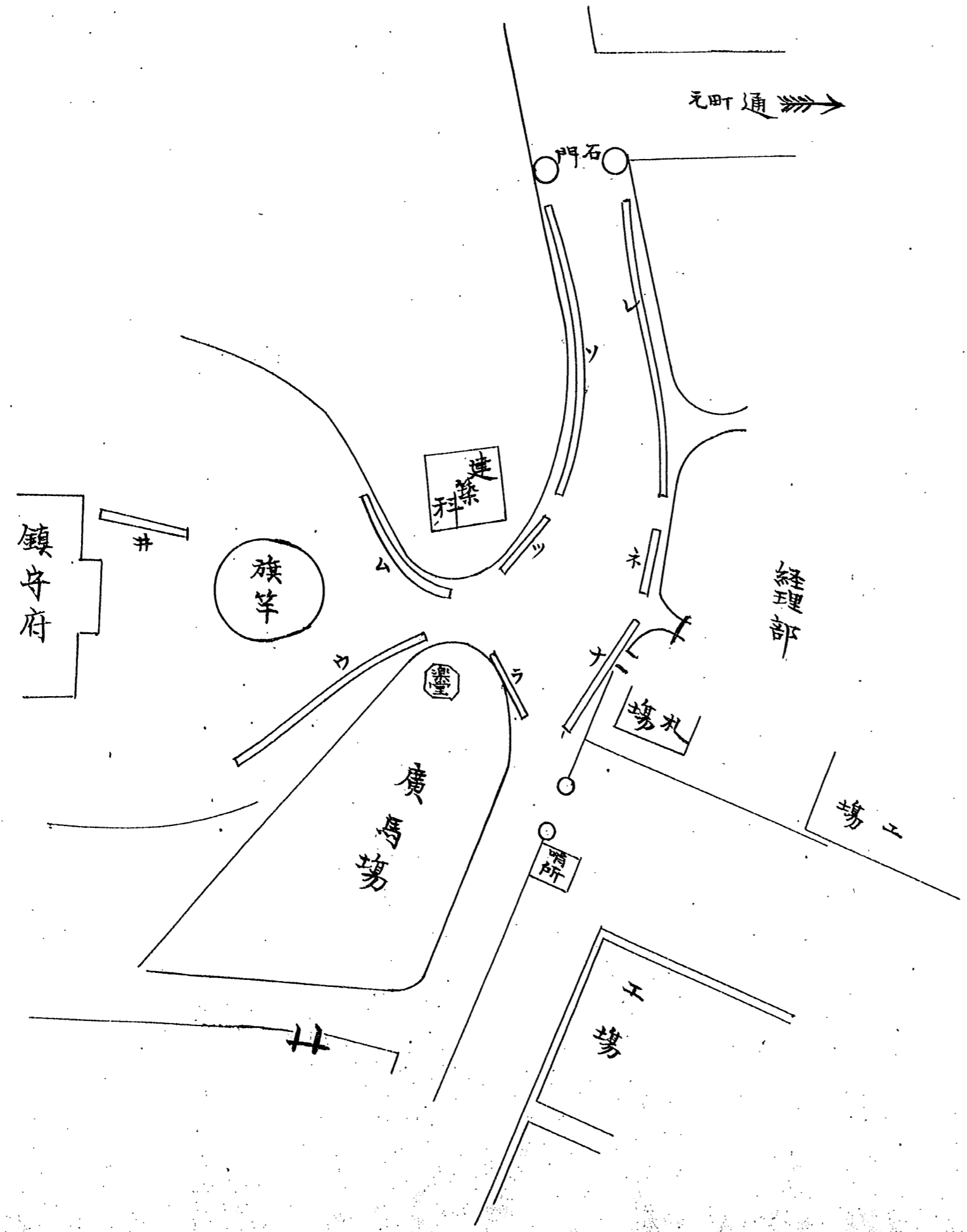
- 千 海軍無銃下士二列
- リ 陸軍儀仗隊陸軍迎送兵二列
- 又 陸軍隊外下士二列
- ル 海軍無銃下士二列
- ヲ 海員救済會員赤十字隊員
- カ 小学校生徒
- コ 機關術練習所下士二列
- ク 地方名譽職員地方官吏



0153

第三圖

鎮守府 著御ノ時奉迎
 鎮守府 發御傳車場 被為成時
 奉送位置

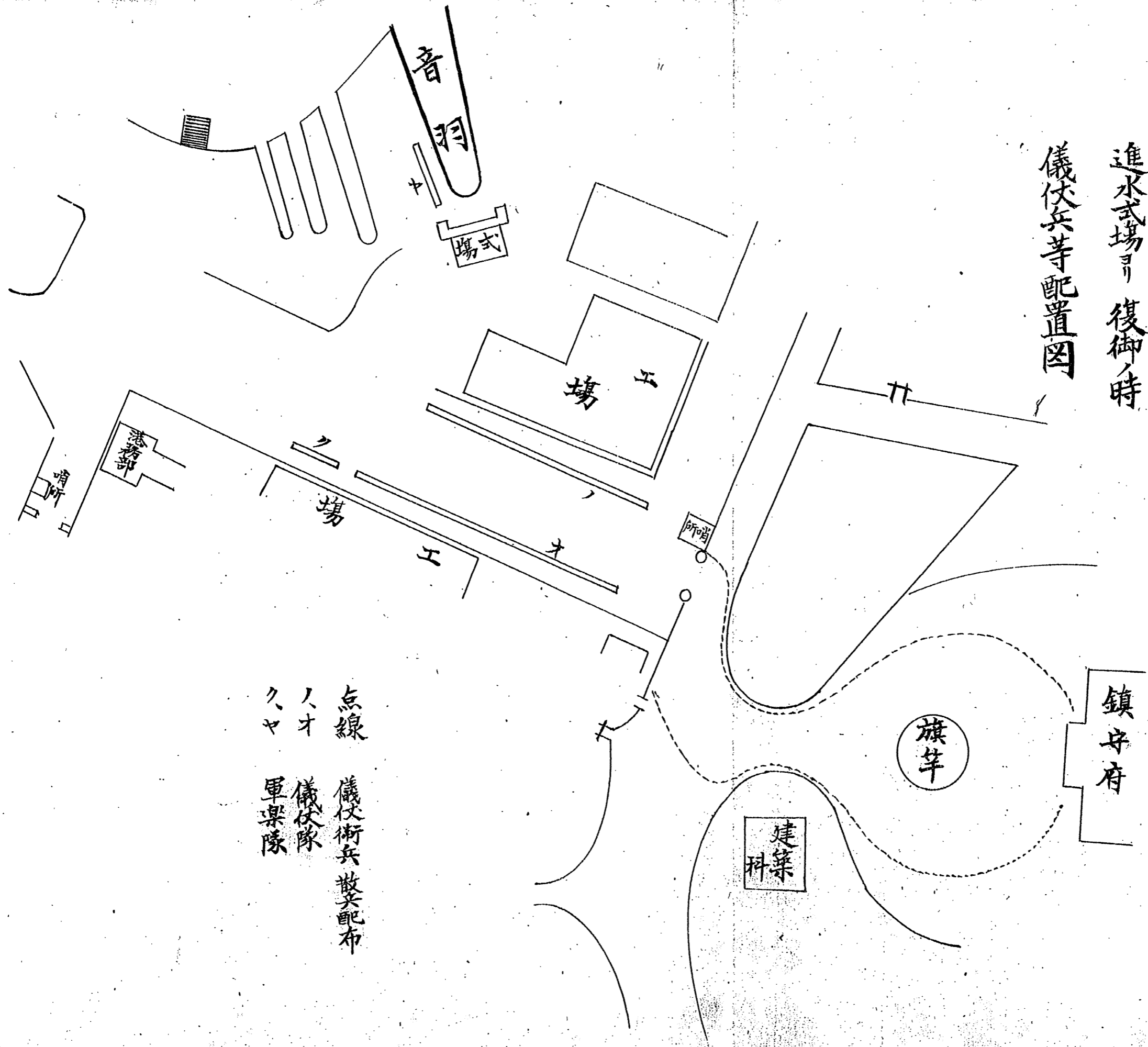


井 ウ ム ラ ナ ネ ツ レ

機關學校生徒 機關學校
 大学々生 士官之ヲ
 高船學校學生 指揮ス
 海軍判任文官 先任將校
 陸軍海軍准士官 指導ス
 儀仗衛兵
 難上 海軍高等士官 (現在先任將校 退任ヲ指導ス)
 鎮守府司令長官、幕僚各廳長

第四圖

鎮守府より進水式場へ臨御時及
進水式場より復御時
儀仗兵等配置図



点線 儀仗兵等配置
ノ才 儀仗隊
久ヤ 軍樂隊

紙

總務局

紙用記筆話電府守鎮賀領横

明治三十六年十一月二日午夜二時〇分受 海軍省

車飛立日月止今連多

軍務局

濟

第二課
第一課

濟

艦政本部

濟

第一部

第三部

海軍省

第二部

第四部

大木

0156

海軍省

七四〇

電報紙達

電務局

局着		局		發		受信人住所氏名	
受信所	受信時刻	付受時刻	第三	コ	コ	カ	カ
取扱所	二時五分	二時五分	日	局	局	カ	カ
	字	分	日	報	報	カ	カ
進水ス				指			
軍艦音羽午後二時無事				事記			
十月七				横須賀鎮守府			
				司令長官			
				注意			
				他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此山ヲ			
				符箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻ス			
				ペン決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカ			
				ラズ			

0157

供覽

軍務局長

軍鑑音別強分運転成表

兼

井

局員

旋

力

試

験

表

同

表

艦政本部長

明治廿七年九月廿七日

艦政本部長

賀

鎮守府

第四部長 大木部員 大木

第三部長

軍令部長

部

部

部

部

部

部

該表同、研政予、軍國公、格、四

九月

0158

紙用記筆話電府守鎮賀須横

明治三十七年

九月五日 午後四時半

分受

海軍省

軍航音羽公討運轉及公討發射

去軍良好ナリ (西方共)

海軍省
艦政本部

軍務局

軍令部



紙用記筆話電府守鎮賀須横

明治三十七年

九月三日

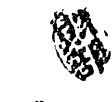
日午四時五分受

海軍省

今日音羽公法連船結果良好



海軍省
電報



軍務局



艦政本部



0160

艦政本部

軍務局

香島通波

九月三日

一日午前八時十分海軍通信所より出塔
一日午前九時午前出集

海軍

海軍

香島鎮守府

海軍

日本郵政

0161

紙用記筆話電府守鎮賀須橫

明治三十七年九月一日午九時三十分受 海軍省

昨日奉行... 豫行運轉... 良好

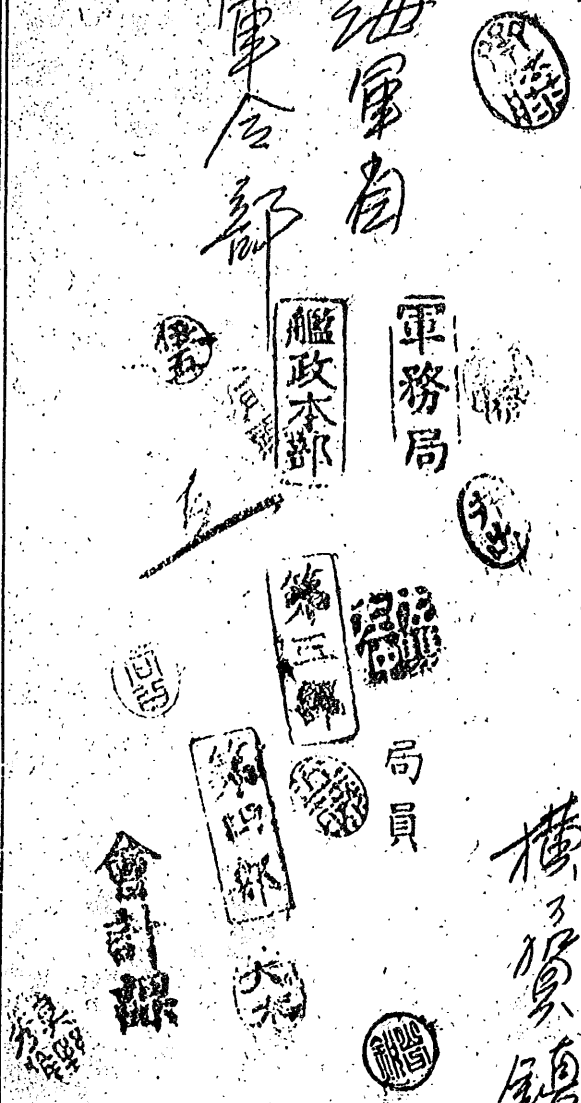
橫須賀鎮守府

海軍省 軍司令部

艦政本部 軍務局

第三師 局員

會計課



0162